

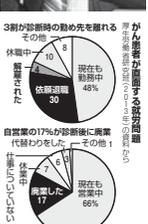
ネクストリボンシンポジウム

病と歩む日常 支えるには

講演 中川恵一さん



早期の発見へ 職場で検診を



がん検診の早期発見を促すのが、職場での検診です。早期発見は、治療の負担を減らし、生活の質を向上させます。



パネルディスカッション 第2部
がんとの共生社会を目指して
パネリスト: 麻木久仁子さん、岩田広治さん、関原健夫さん、武田雅子さん

働く世代のがん患者と家族が直面する就労問題の例
1. 経済的な困難
2. 会社の制度・対応
3. 職場とのコミュニケーション
4. 医療面での問題
5. 心理的問題

雇用継続 具体策ほしい 関原

関原健夫さん
雇用継続の具体策を求めています。企業は、がん患者の雇用継続を支援するための具体的な策を講じてほしいです。

仕事慌てて辞めないで 岩田 制度運用と配慮も重要 武田



岩田広治さん
仕事を慌てて辞めないでほしいです。企業は、がん患者の雇用継続を支援するための具体的な策を講じてほしいです。

当事者の声 麻木

麻木久仁子さん
がん患者としての経験から、職場での検診の重要性を訴えています。

ネクストリボンシンポジウム

がん抱え 働き続けるには



パネルディスカッション 第1部
がんを乗り越えよう
～日本社会、企業の課題とは～
パネリスト: 天野信介さん、大久保淳一さん、武田雅子さん

天野信介さん
がんを抱えながら働き続けるには、企業と社会のサポートが必要です。

大久保淳一さん
がんを抱えながら働き続けるには、企業と社会のサポートが必要です。

相談する場 もっとあれば 天野

天野信介さん
相談する場を増やすことで、がん患者の働き続ける環境が改善されます。

復職 転勤感覚で関係作り 武田

武田雅子さん
復職や転勤を、新しい関係作りと捉えることで、働き続ける環境が改善されます。

病のタブー視 変えられる 大久保

大久保淳一さん
がんのタブー視を変え、社会で受け入れられるようにしたいです。

「ネクストリボンシンポジウム」がんとの共生社会を目指して... 患者の体験 会社の力になる

基調講演

国立がん研究センター がんサバイブセンター 支援部長 高橋都さん



高橋都さん
がん患者の体験を、会社の力にするために取り組んでいます。



GapFit advertisement featuring a woman in athletic wear and the text 'Gapが科学した スポーツウェアです。' and '2016年チャリティイベントを開催しました。'

Next Ribbon advertisement for 'Project Next Ribbon' with the text 'がんとの共生社会づくりを目指す' and '朝日新聞' logo.

Large advertisement for 'Solar-rich EX' skin cream, featuring a woman's face and the text '新しくなった「コラーゲンEX」が 半額' and '6つのコラーゲンで、ハリ実感!!'